

平成27年度
栗原市議会
議会報告会報告書

(平成27年10月28日～30日)

平成27年12月
栗原市議会

～ 目 次 ～

1	平成27年度議会報告会の開催状況	1
2	平成27年度議会報告会における意見・要望事項	2～13
(1)	〔地区別、部局別〕質問項目一覧	2
(2)	栗原市議会関係	3
(3)	総務常任委員会所管関係	4～5
(4)	産業建設常任委員会所管関係	6～7
(5)	文教民生常任委員会所管関係	8～9
(6)	指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会所管関係	
	10～11
(7)	(仮称)栗原市スポーツパーク計画に関する調査特別委員会所管関係	
	12～13

平成27年度栗原市議会議会報告会開催状況

1 開催日時等

開催日時	地区	会場	担当班	参加者数(人)		
				男	女	計
10月28日(水) 午後7時から	若柳地区	若柳多目的研修センター	第4班	13	1	14
	栗駒地区	栗駒総合支所	第1班	26	2	28
	高清水地区	高清水総合支所	第2班	6	0	6
	金成地区	金成生涯学習センター	第3班	11	0	11
10月29日(木) 午後7時から	築館地区	市民活動支援センター	第1班	17	2	19
	花山地区	花山石楠花センター	第2班	9	1	10
10月30日(金) 午後7時から	一迫地区	一迫総合支所	第3班	11	0	11
	瀬峰地区	瀬峰総合支所	第1班	6	1	7
	鶯沢地区	鶯沢振興センター	第4班	11	0	11
	志波姫地区	この花さくや姫プラザ	第2班	9	0	9
計				119	7	126

2 班編成

第1班	第2班	第3班	第4班
高橋 渉	沼倉 猛	佐藤 範 男	佐藤 千 昭
菅原 久 男	佐々木 幸 一	石川 正 運	三 塚 東
瀬戸 健治郎	佐藤 勇	菅原 勇 喜	高橋 義 雄
佐々木 嘉 郎	佐藤 久 義	鹿野 芳 幸	佐々木 脩
小岩 孝 一	阿部 貞 光	三浦 善 浩	小野 久 一
高橋 勝 男	五十嵐 勇	濁沼 一 孝	佐藤 悟
佐藤 文 男	相馬 勝 義		

平成27年度栗原市議会議会報告会[地区別、部局別] 質問項目一覧

(単位：件)

部局名等	地区名										計
	築館	若柳	栗駒	高清水	一迫	瀬峰	鶯沢	金成	志波姫	花山	
議会	3	3	2	1	0	2	0	0	1	0	12
総務部	1	1	0	3	1	0	0	0	0	0	6
企画部	1	3	8	3	2	0	4	4	3	3	31
うち、定住対策関連	/	/	(1)	/	(1)	/	(2)	(2)	/	(1)	(7)
うち、スポーツパーク構想関連	(1)	(3)	(6)	(3)	(1)	/	(2)	(2)	(3)	(1)	(21)
市民生活部	3	1	1	0	5	3	2	1	1	3	20
うち、最終処分場関連	(2)	/	(1)	/	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(12)
建設部	0	1	0	0	0	0	1	0	3	0	5
産業経済部	2	2	1	0	2	3	0	4	0	0	14
うち、農業政策関連	/	(2)	/	/	/	(3)	/	/	/	/	(5)
うち、汚染稲わら等関連	(1)	/	/	/	/	/	/	(3)	/	/	(4)
上下水道部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
教育部	4	3	1	1	1	0	0	2	0	0	12
うち、学校再編関連	(3)	/	/	/	/	/	/	(1)	/	/	(4)
医療局	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
計	15	14	13	10	11	8	7	11	8	6	103

平成27年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：栗原市議会 12件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	政務活動費の実績を市議会だよりに掲載しないのはなぜか。(築館地区)	市議会だよりへの掲載については議論があったが、紙面の関係で見送った。各会派の会報などで知らせている。 また、公開の方法はいろいろあると考えるが、市議会だよりへの掲載となると、使用金額、返還額程度しか載せられない。金額だけならホームページなどでも見ることができることから見送った。今後、広報編集調査特別委員会などで議論、検討していく。
2	選挙権が18歳に引き下げられる。若者から学ぶこともある。議会報告会に参加いただけるよう工夫すべきではないか。(築館地区)	子ども議会や高校生を対象としたイベントなどが想定されるが、関係機関と調整も必要である。ご意見として承る。
3	地方創生について、議会としてどのような考えを持っているか。(築館地区)	ご意見として承る。
4	安保関連法案に関する意見書を提出しているが、提出して終わりではなく、その立場に立ち続けてほしい。(若柳地区)	(要望のため回答なし)
5	人口減少に歯止めをかけるには思いきった施策が必要である。地方創生に関する特別委員会を設置して提案型の議会になってほしい。(若柳地区)	人口減少問題は危機感をもっている。議会側から提案することは大事である。
6	会派の異動があるようだが、信条信念をもって議員の職務を全うしてほしい。議員としての資質が問われる。(若柳地区)	政党に属していない議員が多く、その議員で構成された会派の場合、見解の相違があったら異動することは仕方がない面もある。
7	議会報告会らしくなってきたが、まだ一線を越えていない。ただの報告会では意味がない。議員個々の意見はどこで表明するのか。(栗駒地区)	議会として動きが見えないということで、議会報告会が始まった。今回の報告は議会としての対応を報告している。
8	議会報告会の資料内容や、地元議員が来ていることは評価する。調査の結果、市に提言し、その後どうなったかについてまで報告があれば、なお良いのではないか。(栗駒地区)	いくらか改善されてきたという理解をする。ご意見として承る。
9	政務活動費の用途は何か。(高清水地区)	会派の会報発行や先進地の視察研修などに使っている。
10	現在使っている歴史の教科書は歴史のねつ造が目立ち、子どもの教育によくない。 市長や教育長に対し、教科書採択にあたっては採択委員会において公平に審査するよう要望し、議会にも同趣旨の陳情を提出した。しかし、陳情紹介済みの通知が来ただけである。取り上げない理由を知らせるべきではないか。(瀬峰地区)	請願と違って、本市議会における陳情の処理方法は、その写しを配布することになっている。多様な陳情が提出されることから、議会の合意形成に至らないものや時間がかかるものがある。陳情の取扱いについては検討したい。
11	議会報告会の資料を見てもピンとこない。理解できないところがある。資料をもっと詳しくしてほしい。(瀬峰地区)	限られた時間の中であることから、このような資料になっている。これまでは共通テーマで行ってきたが、地域の実情に沿ったテーマ設定が可能かどうかも含めて持ち帰り検討したい。
12	議会が行政を監視することは大事な役割である。議会が行政と対等になるよう頑張してほしい。(志波姫地区)	議会基本条例を制定し、それに則り活動しているが、さらに頑張っていきたい。

平成27年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：総務常任委員会所管 15件

1 総務部関係 6件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	平成27年9月関東・東北豪雨災害の際、旧富野小学校が避難所になったが、水は出るが飲めないと言われた。避難所指定施設であり、水道が使えるのはおかしいのではないか。避難所としてしっかり整備してほしい。(築館地区)	避難所と指定している旧学校施設は、旧富野小学校に限らず、閉校時に水道を止めているところ、または飲めない状態になっているところがあるのは承知している。このことは、市にも話をしていく。
2	市にはお金がないというが、スポーツパーク構想が出てきた。本当はお金があるのではないか。その財源を国保税の引下げなどに充ててほしい。市民の視点にたって予算の審査をしてほしい。(若柳地区)	一般的に財政調整基金の目安は、一般会計の約1割と言われている。現在の基金残高は100億円を超えているが、反面、借入金もあり、不測の事態にも備えなければならない。議会でもしっかり予算などを審査している
3	女川原発の再稼働についてどう思うか。避難計画は30キロメートル圏内であるが、その圏外も対象にすべきではないか。(高清水地区)	東日本大震災後、特別委員会で女川原発を視察している。再稼働に係る議論は、議会ですていない。また30キロメートル圏内で済むとは思っていない。
4	財政調整基金は120億円ほどあり、他自治体よりも多い。国保税の引下げや福祉に活用してはどうか。(高清水地区)	財政調整基金はこれから取り崩して使っていくことになると思う。国保税の引下げ等については要望として執行部に伝える。
5	「哀悼のことば」を行政区長が弔辞として代読するのはおかしい。総合支所長などの職員が代読すべきではないか。(高清水地区)	「哀悼のことば」は弔辞の代わりと書かれているので、弔辞の時に読んで良いと思う。なお、執行部に伝える。
6	女川原発の再稼働の申請をしている。避難計画では女川町から栗原市に避難してくるようだが、原発事故が起これば、本市も被災地になる可能性がある。女川原発が再稼働して良いものか、その辺の調査もしてほしい。(一迫地区)	(要望のため回答なし)

2 企画部関係 9件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	シェアリングタウン事業は成功だったと思う。宅地分譲はいくらくらいか、補助などはないのか。(栗駒地区)	補助はない。条件により平米単価を示している。
2	行政区長会に空き家調査の依頼があった。空き家対策はどのような状況になっているのか。(栗駒地区)	調査に基づいて計画を策定すると思う。詳細は市政懇談会でお聞きいただきたい。
3	市内民間事業者における、ここ10年間の宅地分譲の状況はどうなっているか。15年前に不動産業者からは築館中心部の物件が少ないと聞いた。若者は、中心部なら狭いところでも飛びつく傾向があると思うので、その辺も考慮して定住計画をしてもらいたい。(一迫地区)	担当課ではわかるかもしれないが、議会では民間の宅地分譲状況については把握していない。
4	合併後、人口は1万人減っている。花山、鶯沢地区は、消滅する可能性があるのではないか。議会でも本気になって、人口増加の取組みを考えるべきである。学力の向上を図っても、若者は都会に出ていく。残るのは借金と高齢者ばかりである。若者が残れるような施策を早急に講じてほしい。(鶯沢地区)	働く場所がないと出ていくしかない。市でも工場団地の造成、婚活、宅地分譲などの施策を講じている。

平成27年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：総務常任委員会所管 15件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
5	若者の娯楽施設はパチンコ店しかない。昔はボーリング、スケートもあった。自然に若者が集える施設が必要である。(鶯沢地区)	工場で社員の募集をしても応募者がいないことがあると聞く。全国レベルの給料体系の工場が来ないと厳しいのでないか。市としても中学生までの医療費無料化、保育所の2人目以降無料化などさまざまな施策を講じている。
6	市では、景観形成の基本構想を策定したようである。空き家、不在地主の問題については、危険だけでなく、景観上の問題もある。(鶯沢地区)	景観形成の基本構想では、空き家対策はない。空き家対策については、法律が制定されたので、法律に基づいて対応していくことになる。景観については、景観条例の制定を提言している。
7	地方版「総合戦略」への取組み状況は、どうなっているのか。(金成地区)	現在策定中であり、12月中に原案を議会に示し、年明けにパブリックコメントを行い、3月までに確定させる日程と聞いている。
8	空き家が多くなっている。若者定住に向け、空き家のリフォーム助成や家財の処分費用の助成が必要ではないか。(花山地区)	市内に空き家はあるが、すぐに貸し出せる状況にないものが多い。家財道具の処分やリフォームへの助成など有効な事業を検討したい。
9	市民バスについて、同じルートを回るバスでも毎日違う種類のバスがきてわかりにくい。同じルートを回るバスの色などは統一してはどうか。(花山地区)	ご意見として承る。

平成27年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：産業建設常任委員会所管 17件

1 産業経済部関係 11件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	市内の直売所には、誰もが参入できるようにしてはどうか。(築館地区)	ご意見として承る。
2	農業後継者対策が課題である。以前は農業委員会との懇談会もあったが、そういう懇談会などを通じて、栗原の農業のあり方について議会としてもしっかり考えてほしい。(若柳地区)	市だけで解決できる問題ではないので、適宜国などにしっかり意見を伝えていく。
3	TPP交渉は大筋合意をみたが、農業に与える影響は大きい。議会は防波堤の役割を担ってほしい。(若柳地区)	TPPや米価下落対策に関する意見書なども提出している。
4	土地改良区の合併時に、市との約束で農業用排水路も含めて、維持管理は土地改良区に一本化したと認識している。しかし、工事をお願いしても「市へ伺いをたてないといけない」と言われる。土地改良区ではできないのか。(栗駒地区)	要望として承る。
5	市の広告、宣伝をテレビとかでよく見る。良い面もあるが、他に予算を使ってほしいが、見かけだけの取組みに使われているのではないか。(一迫地区)	ご意見については、常任委員会に報告し、協議していく。結果については、広報などで報告し、議論を続けていきたい。市政懇談会の中でも発言してほしい。
6	平成27年9月関東・東北豪雨で、小さい水路や畦畔が崩れたところが多くある。高齢者は自分一人では直せない。そのような箇所や先に示された支援策に該当しないところにも助成をお願いしたい。(一迫地区)	我々も要望はしていくが、是非、生の声を市政懇談会に来て要望してほしい。
7	農業従事者の高齢化が進行し、担い手不足が深刻な問題である。国はどのような改革を進めようとしているのか。(瀬峰地区)	国は担い手に農地を集約し、規模拡大を図ろうとしている。農地中間管理事業などの農業改革のほか、農協改革や農業委員会のあり方も見直すとしている。今後はTPPも農業に大きな影響を与えるものと思う。
8	昨今の農業情勢下において、農業者は今後の農業経営の在り方に不安を抱いている。報告の中に飼料用米の取組みについて課題が山積しているとあるが、どのような課題があるのか。課題は早急に解決しなければならない。解決に向けた今後の具体的な構想を伺いたい(瀬峰地区)	多収性品種を作付しなければ収益が上がらない。農協との意見交換会の中では、飼料用米専用のカントリーエレベーターが必要であるという意見があった。解決に向けた関係機関との連携が必要である。
9	持続可能な農業経営を確立することが重要である。なお一層関係機関と連携を図り、具体的な施策を打ち出してほしい。(瀬峰地区)	ご意見として承る。
10	草地土壌を再除染しても、その後に収穫した牧草は1キログラム当たり100ベクレル以上の牧草である。この牧草を牛に給与することはできない。こうした実態を、市議会は承知しているのか。飼養経費の軽減のため、配合飼料を控え、自家採取した牧草を多く給与しているが、子牛に相当の放射性物質が蓄積されることになる。(金成地区)	この場で正確な回答をいたしかねる。持ち帰り、担当部局と確認し、何らかの方法でお答えしたい。 参考として、出席した議員から、自らの畜産経営における牧草の給与と肉質の汚染度合いについて例示した。
11	平成27年9月関東・東北豪雨で死者が出た。以前より大雨に弱いのは、栗駒ダムの機能低下によるものである。県に対し、浚渫を行うなど管理の徹底を要請してほしい。(金成地区)	この場で正確な回答をいたしかねる。持ち帰り、担当部局と確認し、何らかの方法でお答えしたい。

平成27年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：産業建設常任委員会所管 17件

2 建設部関係 5件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	平成27年9月関東・東北豪雨で、若柳付近を流れる河川も危険な状態であった。河川改修の要望をするよう市に働きかけてほしい。また、避難指示の基準について議会でも検討してほしい。(若柳地区)	河川改修の問題は市域全体に言えることである。意見をしっかり受け止める。
2	市道、農道の路側帯や法面の管理をしっかりとしてほしい。また、道路の支障木の撤去など管理をしっかりとしてほしい。(鶯沢地区)	ご意見のあったことは、一般質問で複数の議員が質問している。市には申し伝える。
3	堤防の改修は進んでいない。津久毛地区は、緊急時の避難所として地区の集会所が指定されているが、大雨時には三迫川の「釜糠橋」が通行不能となり、避難所に行くことができない。早急に「釜糠橋」の架替えが必要である。これまで何度も要望してきている。(志波姫地区)	この場で正確な回答をいたしかねる。持ち帰り、担当部局と確認し、何らかの方法でお答えしたい。
4	志波姫中区は洪水の常襲地帯である。近年気象の変動が激しくなっている。河川敷に支障木などが繁茂し、洪水の危険があるので、支障木など撤去してほしい。(志波姫地区)	県議会議員や執行部に対し要請していきたい。
5	御駒堂住宅は古い市営住宅で、平成27年9月関東・東北豪雨災害の際、雨樋は壊れ、雨漏りがした。早急に修繕してほしい。また、立木の枝なども伐採してほしい。(志波姫地区)	担当部へ連絡し、対応するよう要請する。

3 上下水道部関係 1件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	水道施設はつくられて5~60年になる。今後、一気に駄目になる可能性もある。その対策はどうなっているのか。(築館地区)	水道は浄水場の更新はされてきている。問題は配水管の石綿セメント管で、これは年次計画の中で更新されてきている。

平成27年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：文教民生常任委員会所管 22件

1 市民生活部関係 8件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	ごみ処理施設の長寿命化の話があったが、長持ちさせるのはいいが、今後、一気に駄目になる可能性もある。その対策はどうなっているのか。(築館地区)	ごみ処理は止めることはできない。定期的に部品の交換などのメンテナンスを行っている。
2	本市のインフラは進んでいるが、高齢化が進行する中で、今後の行政サービスに対する不安がある。今後高齢者の方が冬場だけでも過ごせるような施設を整備するなど、ソフト面にも力を入れてほしい。(若柳地区)	花山地区では「小さな拠点づくり事業」に取り組んでおり、今後の参考になると思う。
3	本市のごみ減量化の推進状況はどうなっているか。また、ごみのリサイクル率がわかれば教えてほしい。(一迫地区)	本市のごみの排出量データを紹介。リサイクル率についての資料はない。担当部に伝えて明らかにしたい。
4	平成27年3月に「栗原市一般廃棄物処理基本計画」が改訂され、「福島第一原子力発電所からの放射性物質拡散へ備えを進め、安全・安心な暮らしを守ります」と追加された。具体的にそれをどうするか。議会でどんどんそれを具現化するようお願いしたい。(一迫地区)	(要望のため回答なし)
5	高齢者、介護などの施設が不足し、入所待機者が多い実態を認識しているか。(一迫地区)	その実態は認識している。市長のマニフェストに施設入所待機者を半分にするとある。議会も「市民が創るくらしたい栗原」となるよう提言していく。
6	乳幼児から高齢者の方までへの支援は、これまで以上に積極的な施策を講じてほしい。(瀬峰地区)	中学生までの医療費無料化や奨学金制度の充実など、本市は他の自治体よりも進んでいる方だと思う。更なる充実に関してはご意見として承る。
7	若者定住の施策は大切だが、高齢者対策も不可欠である。市の中心地域の施策が多く、花山のよう山間部では、人口流出、独居高齢者が増えている。社会福祉協議会の送迎バスが廃止と聞くが、冬期の雪対策も含め、高齢者が生活しやすい施策を望む。(花山地区)	持ち帰り、執行部と協議したうえで、結果を報告したい。 さまざまな事業を組み合わせることにより、成果が上がると思われる。若者も高齢者も住みよいまちをつくるため、市民のニーズを的確に把握していくことが必要と考える。
8	積雪の多い山間部の高齢者世帯に、冬期間の暖房費などの助成の考えはないか。また、花山地区は介護認定率が低い。それは、介護が必要な高齢者が介護認定を受けず、可能な限り自らの力で生活しようと考えて申請しないためである。これら高齢者にやさしい住みよいまちづくりを行ってほしい。(花山地区)	市民へ細かい施策を考えることが議員及び執行部の使命と考える。検討したい。

2 教育部関係 12件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	タブレット端末による授業は、どのように行われ、指導されているか。また効果はどうか。(築館地区)	授業を視察した際、教師が校舎内の写真を撮るよう指示し、児童がグループごとの写真を撮り、どこの写真が発表していた。パソコンより自由に持ち歩き可能で、グループごとに使っている。新しい取り組みである。
2	学校再編計画が進められているが、前期計画の再編が本当に良かったのか検証し、後期計画の見直しも含めて委員会でも検討してほしい。(築館地区)	ご意見として承る。

平成27年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：文教民生常任委員会所管 22件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
3	学校再編に当たっては、PTAだけでなく、地域住民の意見も聞くべきである。築館地区では、前期計画が検討されないまま後期計画に移行した。しっかり検証をしてほしい。(築館地区)	ご意見として承る。
4	富野地区から宮野小学校に通学している児童がいるが、築館小学校に通学している児童はスクールバスで送迎し、宮野小学校に通学している児童を送迎しないのはおかしいのではないか。(築館地区)	ご意見として承る。
5	教育研究センターはどのような役割を担っているか。(若柳地区)	市は「学府くりはら」を標榜している。教員の研修や教育現場で問題が生じた場合に相談を受けるなど、教育の底上げを図るための研究などを行う施設である。
6	モデル校でタブレット端末を使った授業を行っているが、その端末はどのようなものか。今後すべての学校に配備となると多額の経費がかかる。(若柳地区)	小型で手に持ってタッチ操作できるもので、問題に対する正答なども瞬時に見分けることができる。
7	市内の学校でいじめはあるのか。(若柳地区)	いじめはあるが、問題は解決している。また、陰湿ないじめはないと聞いている。
8	いじめ問題について、市に問いかけしているか。問題が起きてからでは遅い。(栗駒地区)	毎回のように本会議の一般質問の中で、教育長に質している。
9	一昨年の議会報告会で、市内の学校ではいじめはないと言っていたが、去年は、いじめはあると言っていた。1年で変わるのか。(高清水地区)	国の「いじめ」の定義が変わったので、昨年はいじめがあると報告した。まったく、いじめがないということはありません。
10	学校ICT環境推進事業の問題点4点(別紙…質問要旨)について慎重に検討すべきである。(一迫地区)	質問要旨は執行部にも渡す。ご意見については、常任委員会に報告し、協議していく。結果については、広報などで報告し、議論を続けていきたい。市政懇談会の中でも発言してほしい。
11	金成津久毛地区は、公民館以外の公共施設は全て閉鎖された。閉校した小学校の校庭は、地域の裁量で、祭りや運動会などに自由に使えるようにしてほしい。(金成地区)	この場で正確な回答をいたしかねる。持ち帰り、担当部局と確認し、何らかの方法でお答えしたい。
12	入ノ沢遺跡は大変に貴重である。銅鏡や勾玉も出土した。保存を徹底して、活用方法を考えるべきである。(金成地区)	この場で正確な回答をいたしかねる。持ち帰り、担当部局と確認し、何らかの方法でお答えしたい。

3 医療局関係 2件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	市内に産婦人科は一つしかない。医師の確保に努めているのか。(高清水地区)	栗原中央病院でも医師招聘に努めている。産婦人科医になる人が少ないと聞いている。
2	栗原中央病院に出入禁止になった人がいると聞くがその理由は何か。(高清水地区)	病院のロビーで大声をあげ、看護師が別室に案内した際、扉に看護師の指が挟まってケガをしたためと聞いている。その方には、他の医療機関を紹介したと聞いている。

平成27年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：指定廃棄物最終処分等に関する調査特別委員会 15件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	指定廃棄物の対応が長期化している。施設の管理を徹底するように市に申し入れてほしい。(築館地区)	平成27年度から県の事業で、耐火性のビニールシートで覆う計画となっている。また、県は定期的に現地確認と放射能測定を行い、その結果をホームページに公表している。
2	仙台で本市出身であることを名乗ると、最終処分場詳細調査候補地のところだねと言われる。それだけで風評被害である。詳細調査を受入れ、不適地であることを証明することが、風評被害の払拭につながると思う。(築館地区)	考え方は同じであると思うが、詳細調査の受入れは本市だけが先行するのではなく、3候補地同時に行うべきである。
3	特別委員会で栗駒深山嶽の調査は行ったようだが、加美町、大和町も調査すべきである。(築館地区)	ご意見として承る。
4	議会は最終処分場建設反対の市民の声をどのように吸い上げるのか。(栗駒地区)	特別委員会では調査をして、「最終処分場建設反対の意見書」、「放射性物質汚染対処特措法の見直しを求める意見書」をそれぞれ全会一致で可決し、国に提出している。
5	質問要旨をまとめてきたので執行部にも渡してほしい。 議会でもっと議論を深めてほしいし、特別委員会はもっと積極的かつ具体的に取組んでほしい。 詳細調査は受け入れるべきではない。市町村長会議の中で、候補地を白紙撤回して、国は再選定すべきである。(一迫地区)	ご意見については、特別委員会に報告し、協議していく。結果については、広報などで報告し、議論を続けていきたい。 市政懇談会の中でも発言してほしい。
6	環境省のフォーラムには、議会として参加しているのか。詳細調査を受入れると、沖縄の米軍基地のように強行に建設を進められるのではないかと心配である。 市町村長会議にはどのくらい権限があるのか。(一迫地区)	環境省のフォーラムには参加していない。市は、詳細調査を受入れ、不適地であることを証明したいとのことである。 議会は最終処分場建設には絶対反対である。最終処分場建設はあり得ないという思いである。
7	市長は、最終処分場の詳細調査について、3候補地同時に行うことが受入れの条件としているが、本市だけでも受入れ、不適地であることを証明してはどうか。 また、議会の考え方はどうか。(瀬峰地区)	詳細調査に関しては、議員個々に多様な意見があり言及していない。最終処分場の建設に関しては不適地であることは明らかであることから、反対の意見書を提出している。また、本市だけが先行するのは市民の理解を得られない。
8	最終処分場の詳細調査を本市だけが先行して受入れすることは反対である。一番良いのは福島第一原発の地下に埋めれば良い。(瀬峰地区)	ご意見として承る。
9	最終処分場建設に向けた動きはどうなっているのか。(鶯沢地区)	現時点において詳細調査に入っていない。3候補地同時に入ることを条件に、調査の受入れを表明している。 10月29日に加美町と環境省の懇談会が開催されたが、合意には至っていない。年内の調査は不可能な状況である。 市長は知事に対し、市町村長会議の開催を要請している。 議会としてはその推移を見守り、状況が動けば特別委員会としても行動していく。
10	最終処分場建設には、議会としても明確に反対してほしい。議会は反対なのか。(鶯沢地区)	議会も建設反対の意見書を国に送付している。栗駒深山嶽は不適地であり、賛成している議員は一人もいない。市町村長会議で再度協議をしてほしい。市長は候補地の撤回を考えているようである。 一方、市内には汚染稲わらが大量にあり、早くなんとかしなければならぬ。

平成27年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：指定廃棄物最終処分等に関する調査特別委員会 15件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
11	特別委員会の調査項目に汚染牧草も加えるべきである。畜産農家は、汚染牧草の保管対応に苦慮している。(金成地区)	特別委員会の調査は、放射性物質汚染対処特措法で規定する指定廃棄物としている。市では、8,000ベクレル以下の汚染牧草についても、指定廃棄物と同様の処理を行う旨を確認している。
12	最終処分場建設に絶対反対である。金成地区は、栗駒山からの河川水を生活用水、農業用水として利用している。市外や県外からの指定廃棄物は、絶対持ち込まれないよう対応してほしい。(金成地区)	議会の総意として、最終処分場建設には絶対に反対である。
13	特別委員会の調査項目は、汚染稲わらだけでは不十分である。是非、汚染牧草も調査項目に加えるべきである。(金成地区)	指定廃棄物である汚染稲わらの処理は、当初から県の業務である。指定廃棄物でない汚染牧草の処理は、市の業務であるが、本市では、汚染牧草の処理方法が確定するまでは、畜産農家の皆さんに辛抱していただいている。汚染牧草やホダ木も含め、本市では指定廃棄物と同様の処理を行うよう、現在、様々な角度から減量化などの研究を行っている。
14	最終処分場の詳細調査は、3候補地が同時に調査するのは難しいのではないかと。本市と大和町だけが先に調査できないのか。(志波姫地区)	本市は、3候補地同時に入ることを条件に、調査の受入れを表明している。議会でも、「放射性物質汚染対処特措法の改正を求める意見書」を国に送付している。また、市長は、詳細調査が越年する場合は、市町村会議を再度開催するよう知事に要請すると言っている。
15	栗駒深山嶽に仮に最終処分場が建設されたら、花山青少年自然の家や花山ダムなど、花山地区にも影響があると考え。よって建設には絶対反対である。(花山地区)	影響が出る可能性はあると思うので、建設については議会も反対している。環境省は、県内3候補地のうち1箇所絞るための調査を行いたいとしている。議会は国に対し、「放射性物質汚染対処特措法の見直しを求める意見書」を提出している。

※本報告書において下表のとおり表記しております。

正式名称	本報告書における略称
平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法	放射性物質汚染対処特措法
放射性物質に汚染された稲わら	汚染稲わら
指定廃棄物の最終処分場等に係る市町村長会議	市町村長会議
栗原市議会指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会	特別委員会

平成27年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：(仮称)栗原市スポーツパーク計画に関する調査特別委員会 22件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	スポーツパーク構想の素案が議会に示されたら、市民にも分かるようにしっかり検討してほしい。(築館地区)	特別委員会は、スポーツパーク構想の内容、場所、事業費、費用対効果などを調査するために設置したものである。しっかり調査する。
2	スポーツパーク構想は唐突ではないか。東京五輪の合宿所誘致や、ホッケー競技に特化した施設と聞いている。かたや我々は公民館に利用料金を払って利用している。白紙状態の中で意見を聴いてもいいのではないか。(若柳地区)	確かに唐突であった気がする。当該構想作成調査業務委託料の予算は可決したが、具体的な構想は固まっていない。議会には年内に示される予定である。議会として市民のさまざまな意見を代弁していきたい。
3	スポーツパーク構想は唐突であったと思う。場所や位置は示されているのか。(若柳地区)	医学部誘致は実現しなかったが、その予定地であった築館宮野地区との話がある。
4	スポーツパーク構想の候補地は、旧町時代に工業団地整備を断念し、また医学部誘致に至らなかった土地である。地権者からの要望があって進めるような地域エゴの事業にならないように、議会は慎重に審議してほしい。(若柳地区)	(要望のため回答なし。)
5	スポーツパーク構想はなぜ今必要なのか。既存施設の有効活用を図るべきである。(栗駒地区)	議会としてもなぜ今かという思いがある。執行部は議会に対し、年内を目途にスポーツパーク構想の素案を示すとしている。それに伴って特別委員会で内容を精査していく。
6	スポーツパーク構想に関し、山形市の事例調査を行っているがどうだったのか。当該構想作成調査業務委託料の予算を執行し、結果としてつけないことになった場合、そのお金は無駄になるのではないか。(栗駒地区)	山形市の施設は規模が大きすぎて、本市の施設にそのまま活用できるとは思わない。この予算はスポーツパーク構想策定に係るものである。
7	本市とかけ離れている事例の調査を行って、今後参考になるのか。(栗駒地区)	全体的にはかけ離れている施設だが、管理費や維持費など個々には参考になるところがたくさんある。
8	マイナーなホッケー競技のためにお金をかけて負の資産にならないよう願う。莫大な維持費がかかるので、無駄なものをつくらないでほしい。(栗駒地区)	無駄なものはつくらせない。
9	議会はスポーツパーク構想反対の市民の声をどのように吸い上げるのか。(栗駒地区)	スポーツパーク構想はまだ白紙の状態である。素案は示されていない。
10	スポーツパーク構想について、何も示されない中で、無駄な調査に行かない方が良いのではないか。(栗駒地区)	通常であれば計画、予算などが示された後に賛成、反対の立場を表明する。今回は大きな構想であるため、議会としても特別委員会を設置して調査を行っている。
11	スポーツパーク構想作成調査業務委託料の予算は何に使うのか。(高清水地区)	スポーツパーク構想の策定に係る予算であり、スポーツパーク構想策定懇話会の意見を聞きながら検討している。議会に素案が示されると思うので、その時点で議論する。
12	人口が減少している中で、スポーツパークをつくる必要があるのか。各地区に体育施設があるので、修繕しながら既存施設を活用すべきではないか。なぜ宮野地区なのか(高清水地区)	スポーツパーク構想は、スポーツパーク構想策定懇話会の意見も参考にしながらまとめられ、年内に素案が示される予定である。宮野地区とは言っていない。
13	新聞報道では宮野地区と載っている。言っていないというのはおかしいのではないか。(高清水地区)	執行部からは言われていない。議員の一般質問に対する答弁で、そうとられてしまったのではないかと。

平成27年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：(仮称)栗原市スポーツパーク計画に関する調査特別委員会 22件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
14	スポーツパークは、どこに整備して、どんな種類の施設なのか。また、市内の40体育施設の稼働率はどうなっているか。グラウンドホッケーのチーム数は。(一迫地区)	現在はスポーツパーク構想の素案が示されるのを待っている。詳細な内容はまだ決定していない。年内を目途に当該構想を示したいといわれている。 体育施設の稼働率は、特別委員会で調査しているが、資料を持ち合わせてないのでわからない。 本市のチーム数が、県のチーム数である。一般男子1チーム、一般女子1チーム、築館高校男、女チーム、迫桜高校女子チームのみ、中学校では築館と一迫にある。スポーツ少年団が築館と一迫にある。競技人口は、200数十名である。
15	スポーツパーク構想の必要性はどうか。また、場所の選定状況はどうなっているのか。(鶯沢地区)	スポーツパーク構想に関しては、平成27年2月定例会で質問者が多かった。現在、スポーツパーク構想策定懇話会で協議中であり、年内に構想案が示される予定となっている。
16	スポーツパーク構想の内容はどうなっているのか。施設を造ると維持管理に莫大な経費がかかる。箱物の建設はやめるべきである。(鶯沢地区)	平成27年2月定例会で、スポーツパーク構想作成調査業務委託料が突如予算化された。議会では、特別委員会を設置して調査することになった。素案については、まだ、議会に示されていない。
17	スポーツパークの建設予定場所はどこか。ホッケーの競技人口は少ない。市体育協会との協議・検討は、十分に行われたのか。また、当該施設の必要性について、広く市民の声を聴くべきである。学校再編後の空き施設を有効活用して、合宿施設や体育館を検討すべきである。建設する場合、アクセスの点から、予定地の築館宮野地区より「くりこま高原駅」周辺にすべきである。(金成地区)	一般質問に対する市長答弁で、建設場所は「宮城大学医学部」を誘致しようとした築館宮野地区が最適地と考えているようである。議会としては、「スポーツパーク構想作成調査業務委託料」の予算を議決している。提案いただいた内容は、議員各位は十分に理解のうえ、これまで議論を続けてきた。現在は、執行部からの当該構想の素案の提出を待っている。当該素案が示されれば、具体的に議論を深めることができると考えている。
18	スポーツパーク構想に余計な予算を使っている。もっと用途を工夫すべきである。(金成地区)	この場で正確な回答をいたしかねる。持ち帰り、担当部局と確認し、何らかの方法でお答えしたい。
19	スポーツパーク構想は「年内を目途」にいうことだが、年内に具体的な素案が示されるのか。(志波姫地区)	広く市民の意見等を反映させることを目的に、スポーツパーク構想策定懇話会が設置されているが、年内に当該構想が示される予定である。
20	スポーツパーク構想について、市民に分かりやすく説明するよう、執行部に助言してほしい。(志波姫地区)	ご意見と受け止める。
21	医学部誘致がなくなって、ホッケー場をつくるということであるが。ホッケー場をつくっても市に人が集まり、活性化すると思わない。(志波姫地区)	確かに市長からそのような話はあった。そのホッケー場を含めて、現在スポーツパーク構想策定懇話会で検討中で、議会に素案はまだ示されていない。
22	スポーツパーク構想は土地ありきではないか。特定の人だけが使う施設であってはいけないと考える。(花山地区)	体育施設は市内に40箇所ある。土地はまだ決定していない。 議会では、スポーツパーク構想策定業務委託料の予算を議決した。現在、市から当該構想の素案が示されるのを待っている状況である。

※本報告書において下表のとおり表記しております。

正式名称	本報告書における略称
栗原市スポーツパーク基本構想	スポーツパーク構想
栗原市スポーツパーク計画基本構想策定懇話会	スポーツパーク構想策定懇話会
(仮称)栗原市スポーツパーク計画に関する特別委員会	特別委員会